

産業能率大学 経営学部

ミクロ経済学	履修年次	3・4	
	単位	2	
由川 稔	配当期	前	
	授業方法	講義/ オンデマンド	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>①消費者や生産者の経済活動の原理的なことを学ぶという点では経営学に関連し、また資するところも大きいと考えるが、経済学独特の用語もあるので、そのような言葉や考え方に慣れていく。</p> <p>②教科書を読み込む。レジュメ(教科書の叙述を要約・補足したり、発展的学習を案内したりする資料)を毎回提示するので、教科書内容の理解に役立ててもらおう。</p> <p>③教科書理解が確実かどうか、また、レジュメで案内した発展的学習の成果等を、毎回の小テストで確認する。</p> <p>④公務員試験の過去問等にも触れてもらう。</p> <p>⑤純理論的な考察だけでなく、現実の社会動向との関連も考えてもらうため、レジュメで関連情報を提示する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生の基礎知識として、ミクロ経済学という「道具」(理論的枠組み)と基本用語が説明できる。 ・ビジネス社会の一員として、ミクロ経済学という「道具」を現実の日本経済・国際経済の動向を説明する手段として活用できる。 ・公務員試験等における関連領域の問題に正解できる。 			
成績評価の方法			
出席状況と参画度、授業外学習、提出課題、定期試験等により総合評価する。なお、定期試験の受験、および課題レポートの提出を修得の要件とする。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンスおよび限界効用理論	8	完全競争市場の長期均衡
2	無差別曲線の考え方	9	独占企業の生産行動等
3	所得の変化と消費	10	ゲーム理論
4	価格の変化と消費	11	余剰分析
5	完全競争企業の生産行動	12	外部効果
6	損益分岐点と操業停止点、供給曲線	13	公共財、逆選択・モラルハザード、まとめ
7	市場均衡と安定性	14	全回対象のテスト